|  |  |
| --- | --- |
| 令和７年度「健やかな体」育成プログラム | 学校番号：３１００４  学校名：札幌市立啓明中学校 |

|  |
| --- |
|  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | **令和６年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果** | | **分析** |
| **体力・運動能力＜男子＞** | ・全10種目のうち、「握力」「上体起こし」の２種目は、札幌市平均、全国平均ともほぼ同程度であるがやや上回っている。  ・上記以外の８種目のうち、「持久走」と「立ち幅とび」は札幌市の平均を上回っているが、その他については、札幌市の平均、全国平均ともに下回っている。 | | ・持久力については、札幌市の平均を上回っており、ここ数年、継続して向上が見られる。  ・男女ともに、柔軟性および瞬発力の向上が課題と考えられる。体育の授業だけではなく、学校外や家庭での運動習慣の確立や課題に応じた運動が必要である。 |
| **体力・運動能力＜女子＞** | ・全10種目のうち、「上体起こし」は、全国平均とほぼ同程度である。  ・「握力」、「長座体前屈」については、札幌市の平均、全国平均ともほぼ同程度であるがやや下回っている。  ・「持久走」「立ち幅跳び」については、札幌市の平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。  ・上記以外の種目については、札幌市の平均、全国平均ともにやや下回っている。 | |
| **運動・スポーツへの意識、運動習慣** | ・保健体育の授業を除く1週間の総運動時間が60分未満の「ほとんど運動しない」と回答した生徒が男子:12.7%で、札幌平均、全国平均とも上回っており、 女子:14.8%で、札幌市の平均、全国の平均ともに下回っている。  ・「体を動かしてすっきりした気分になったとき」に「楽しい（やや楽しい）」との回答は、男子：93.0%、女子：89.6%であった。  ・「できなかったことができるようになったとき」に「楽しい（やや楽しい）」との回答は、男子：97.4%、女子：95.6%であった。 | | ・体育の授業において、運動量の確保と課題のスモールステップ化を意識し、わかる、できるを増やすことができるよう、工夫改善を図る。 |
| **三つの取組** | **①体育・保健体育等の**  **授業の充実** | **②授業以外で子どもの**  **運動機会を創出する取組** | **③健康に関する指導の充実** |
| **具体的な取組** | ○課題探究的な学習を推進し、ICTを活用した学習活動の充実を図る。  ○運動量の確保を念頭に置き、計画的に学習を進める。  ○場面指導を大切にし、実態にあったわかりやすい課題設定をした授業。  ○授業前に体力つくりを実施し、運動習慣の確立を図るとともに、新体力テストを活用し、体力の向上を図る。  ○「命を大切にする指導」の取組の一環とし  て養護教諭を中心とした「性の理解と尊  重」の学習の充実を図る。 | ○保健の授業を通して、生活習慣改善、早寝早起きの推進、スマートフォンやゲーム機器の使用指導等、基本的生活習慣の定着に関わる指導の実施。  ○体育の授業やICT端末を活用した、家庭でのトレーニングや体ほぐし運動(ストレッチ等)の推奨。 | ○養護教諭や、スクールカウンセラーとの連携による、心の健康やストレスマネジメントに関わる指導の充実。  ○非行防止教室による、危機管理と生命尊重の指導。  ○教育相談機能(心の面の相談)の充実や生徒が自ら基本的生活習慣の定着を目指した指導。 |
| **検証の方法** | ○保健体育の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用（日常の観察やレポート等）  ○全国体力・運動能力、運動習慣等調査や学校独自の調査結果等を活用  ○学校独自の児童・生徒アンケートや保護者アンケート等の活用  ○学校評議員会・学校関係者評価等の活用 | | |